

## 法学委員会大規模災害と法分科会（第24回第1回）議事録

日時：平成30年2月8日 15:00～17:00

場所：日本学術会議6-C(1)会議室

出席：三木、岡田、依田、小幡、関

欠席：目黒

議題：

### (1) 役員を選出

委員長に三木浩一委員、副委員長に依田照彦委員、幹事に岡田正則委員、関礼子委員が選出された。

### (2) 三木委員長による報告（別紙参照）

23期の総括として、分科会の「中間整理（仮案）」に基づく報告がなされた。

今後の議論の取り纏めにあたっては、次の3点が柱となるのではないかと。

- ・リスク情報の総合的な取得と大胆な公開
- ・インセンティブベースのリスク低減型の国土の形成
- ・私的権利規制ベースのリスク低減型の国土の形成

### (3) 上記報告を受けたディスカッション

23期のまとめを受けて、(4)の今後の進め方とあわせて議論した。

### (4) 今後の進め方についてのディスカッション

当面は、シンポジウムの開催又は「学術の動向」の特集化を具体化することを目指し、23期からの議論の成果を示す。ただし、所有者不明土地の問題については、現在進行形で政府レベルで法案等が急ピッチで議論されているので、これらが落ち着くまでは取り扱うことが困難である。シンポジウムについては、官公庁の方をスピーカーとしてお招きするも考える。

次回報告はシンポジウムや「学術の動向」の際の発表内容の全体構成や各委員への割り振りなどについて、小幡委員と岡田委員に報告をお願いします。時期は夏休みの期間を目途に調整する。